

ドリームハロー オート装置

取扱説明書・部品表

製品コード K97014
型式 G0260-HRF20

●適応トラクタ

三菱シ ▶ GJ 24/27/30
(MAC GO 26/28/30/32/34
JAC 兼用) GO 260/280/300/320/340
PAC GO 261/281/301/321/341
GOK 26/34/300/340/301/341

●適応ドリームハロー

NSF/10, 20タイプ
NRF/10, 20タイプ

B373_109000

▲注意

この製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。

- 間違えた使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。
- お読みになった後は、必ず製品の近くに保管してください。

本製品の使用目的

- このオート装置は、ハローのレーキの動きをセンサで感知し、その信号をトラクタに伝え、ハローの深さの調節を、トラクタの油圧コントロールでおこなう、耕深を一定に規制するものです。使用目的以外の作業には、決して使わないでください。
- オート装置は、決められたトラクタ型式と作業機の型式に合うように設計してあります。それ以外での使用はしないでください。
- 本文中のハローの名称は、ドライブハロー、ウィングハローの両方を示します。

安全に作業をするために

▲注意

- トラクタの取扱説明書「油圧コントロール」の項をよく読んでください。
- 作業機の取扱説明書をよく読んでください。
- オート装置の調整をするときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。
- オート装置の調整をするときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO変速レバーを「中立」の位置にしてください。
- オート装置の調整で、作業機を上げ下げするときは、周囲の人や物に注意してください。
- オート装置の調整中に、突然作業機が上下するおそれがあります。十分注意してください。
- トラクタのまわりや作業機との間に、人が入らないようにしてください。
- オート装置の調整がすんだら、適正な工具を使い、確実にボルト・ナット類を締め付けてください。守らないと、傷害事故や機械の損傷につながります。

組立

オート装置の組付けは、部品表を参照して組立ててください。文章中の番号は部品表の番号です。

注意

●オート装置を組付けるときは、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢でおこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷の原因になります。

●オート装置を組付けるときは、ハローのスタンドを使用し、レーキをフリーにしてください。

- (1) 土引きハンドルを解除し、レーキをロックしないで代かき作業状態にしてください。
- (2) レーキが他のものにふれていないで、自然に垂れ下がっているようにしてください。

1. WASシリーズのウイングハローは、中央レーキの6ページ図の位置に①止ピンHR8を取付け、②平座金③割りピンで抜け止めをします。③割りピンは④の穴へ取付けます。

補足

WBS、WGS、WRSシリーズのウイングハロー及びHSF、HRF、HRHシリーズのドライブハローには、止ピンHR8が装備されています。

2. ⑦センサアームを④アーム取出板へ取付け、⑧Rピンで抜け止めをします。

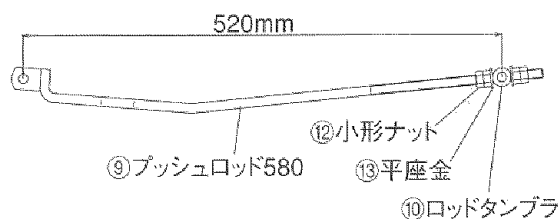
3. ハローの耕耘部カバー中央より左側にあるカラーキャップを外し、そこへ④アーム取出板を⑤ボルト⑥ばね座金で取付けます。

4. ⑨プッシュロッド580を①止ピンHR8へ取付け、⑩割りピンで抜け止めをし、⑩ロッドタンブラを⑦センサアームの下記の穴へ取付け、⑧Rピンで抜け止めをします。

- | | | |
|-------------|---|------------------|
| WRS-10 型ハロー | ⇒ | ① |
| HSF | | |
| HRF | | |
| HRH | | |
| WAS 型ハロー | ⇒ | GJ 型トラクタ ⇒ ① |
| WBS | | |
| WGS | ⇒ | GO GOK 型トラクタ ⇒ ② |
| WRS-00 | | |

補足

下図の寸法で⑨プッシュロッド580⑩ロッドタンブラ⑫小形ナット⑬平座金を組付けてあります。(寸法が変わってしまった場合は、下図の寸法に調整してください。)



5. ⑮リンク取付板Bを⑱ボルト⑲ばね座金で、ヒッチアームLの内側へ取付けます。

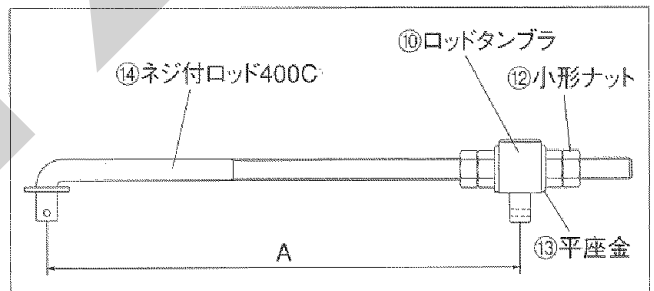
補足

- 1カ所は、ヒッチアームLの取付ボルトとばね座金で共締めします。
- ⑮リンク取付板Bには、⑯リンクアーム⑰E形止め輪を組付けてあります。

6. ⑭ネジ付ロッド400Cを⑯リンクアームへ取付け、⑩割りピンで抜け止めをし、⑩ロッドタンブラを⑦センサアームの下記の穴へ取付け、⑧Rピンで抜け止めをします。

- | | | |
|-------------|---|------------------|
| WRS-10 型ハロー | ⇒ | GJ 型トラクタ ⇒ ① |
| | | GO GOK 型トラクタ ⇒ ② |
| HSF | | |
| HRF | | |
| HRH | | |
| WAS | | |
| WBS | | |
| WGS | | |
| WRS-00 | | |
| 型ハロー | ⇒ | ③ |

- ⑭ネジ付ロッド400Cと⑩ロッドタンブラのA寸法を、下記の通りに仮調整します。
- ⑭ネジ付ロッド400Cの最終の長さ調整は、次の「調整のしかた」の②でおこなってください。



(A寸法)

- | | | | |
|--------|------|-------|-------|
| HSF | 型ハロー | | 305mm |
| HRF | | | |
| WAS | | | |
| WBS | 型ハロー | | 325mm |
| WRS-00 | | | |
| HRH | | | |
| WGS | 型ハロー | | 340mm |
| WRS-10 | | | |

補足

- ⑭ネジ付ロッド400Cには⑩ロッドタンブラを、⑫小形ナット⑬平座金で組付けてあります。

調整のしかた

▲注意

- トラクタの取扱説明書「油圧装置の取扱い」の項をよく読んでください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。
- オート装置の調整をするときは、トラクタのエンジンを停止し、メインスイッチを「切」にして、おこなってください。守らないと、ケガや機械の損傷につながります。

オート装置を使用する場合の操作・調整は、トラクタの取扱説明書をよく読み、おこなってください。

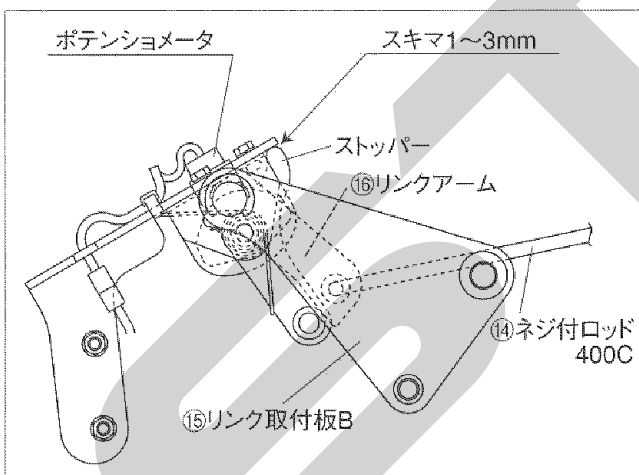
1 トラクタにハローを装着します。

ハローの取扱説明書をよく読み、トラクタにハローを装着してください。

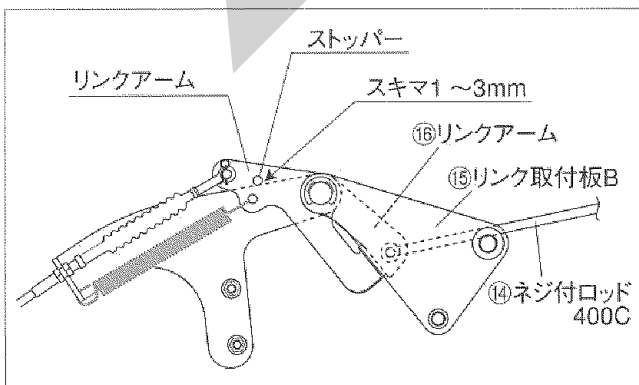
ハローのスタンドを外し、トラクタのポジションコントロールレバーを操作し、ハローのレーキを地面から2～3 cm浮かせ、エンジンを停止します。

2 ねじ付ロッド400Cの調整

下図のように、スーパーヒッチ側に付いているオート装置のストッパー部が1～3 mmのスキマがあくように、⑭ねじ付ロッド400Cの長さを調整します。



(MAC仕様)



(PAC・JAC仕様)

トラクタのスイッチの使い方

スイッチの名称、配置、形状、調整量は、トラクタにより異なります。トラクタの取扱説明書をよく読み、操作してください。

GJ24～30トラクタ (PAC・JAC)

トラクタの取扱説明書をよく読み、操作してください。

GO26～34、GOK26/34トラクタ

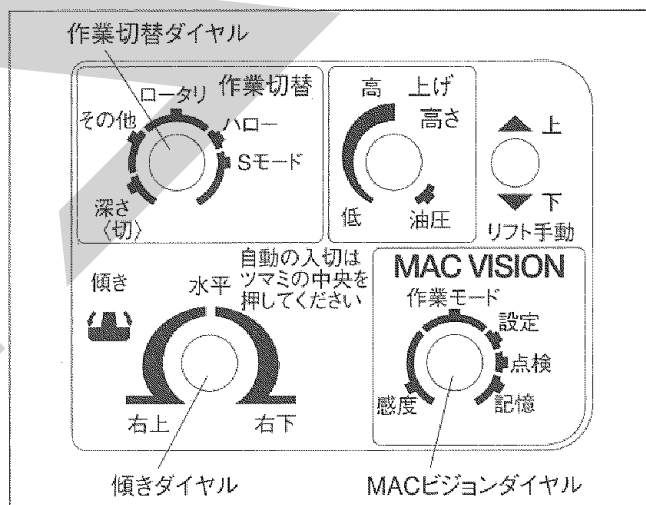
1 スwitchの調整

●PAC・JAC仕様

トラクタの取扱説明書をよく読み、操作してください。

●MAC仕様

トラクタの取扱説明書「マイコン装備機の取扱い」の項をよく読み、操作してください。



- (1)MACビジョンダイヤル…「作業モード」位置に設定
- (2)作業切替ダイヤル…「ハロー」位置に設定
- (3)耕深感度…「5」に設定
- (4)耕深速度…「5」に設定
- (5)傾斜感度…「5」に設定
- (6)ダッシング高さ…「5」に設定
- (7)自動切替

傾きダイヤルの先端のスイッチを押して「傾き自動」にします。

補足

ロータリで設定してある場合は、そのまま使用してください。

2 作業開始

ハローを一度最上げにしてから作業に入ってください。

3 保守・点検整備

作業が終了したら、オート装置の動く部分に注油し、サビを防いでください。

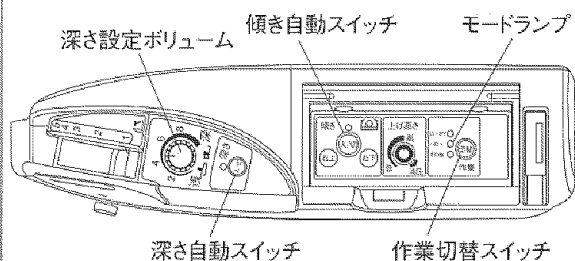
GO 260~340/261~341 GOK 300/340/301/341 **トラクタ**

トラクタの取扱説明書「作業のしかた」の項をよく読み、操作してください。

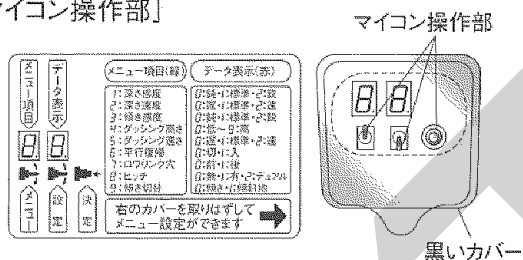
1 スイッチの調整

●b-mac仕様

[サイドパネル]



[マイコン操作部]



[マイコン操作部]

トラクタのサイドパネルの側面にある黒いカバーを開け、設定してください。

マイコン操作は、トラクタの取扱説明書をよく読み、おこなってください。

- (1) 深さ感度.....「1」標準に設定
- (2) 深さ速度.....「1」標準に設定
- (3) 傾き感度.....「1」標準に設定
- (4) ダッシング高さ.....「5」に設定
- (5) ダッシング速さ.....「1」標準に設定
- (6) 平行復帰.....「1」入に設定
- (7) ロワリンク穴.....「1」後に設定
- (8) ヒッチ.....スーパーヒッチ「1」に設定
デュアルヒッチ「2」
- (9) 傾き切替.....「0」傾きに設定

補足

ロータリで設定してある場合は、そのまま使用してください。

[サイドパネル]

(1) 深さ自動スイッチ

深さ自動スイッチを押し、メータパネルの「深さ」ランプを点灯にします。

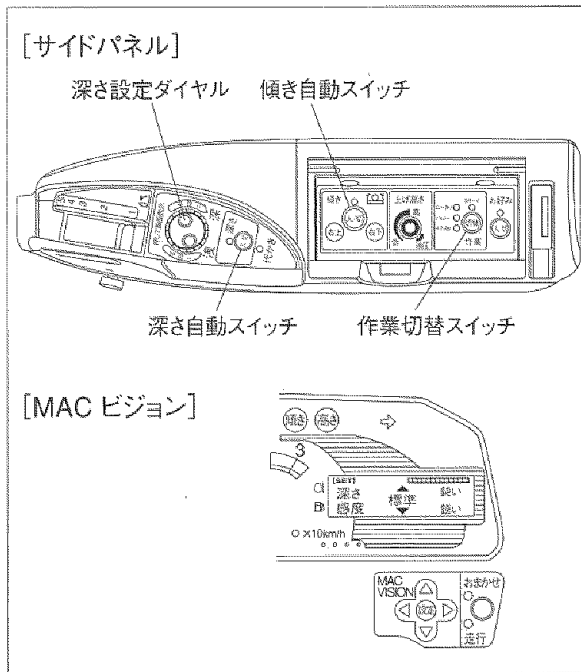
(2) 作業切替スイッチ

「ハロー」のモードランプ点灯にします。

(3) 傾き自動スイッチ

傾き自動スイッチを押し、メータパネルの「傾き」ランプを点灯にします。

● e-mac仕様



[サイドパネル]

- (1) 深さ自動スイッチ
深さ自動スイッチを押し、メータパネルの「深さ」ランプを点灯にします。
- (2) 作業切替スイッチ
「ハロー」のモードランプ点灯にします。
- (3) 傾き自動スイッチ
傾き自動スイッチを押し、メータパネルの「傾き」ランプを点灯にします。

[MACビジョン]

MACビジョンの操作は、トラクタの取扱説明書「MACビジョンの取扱い」の項をよく読み、おこなってください。

- (1) 深さ感度……………「標準」に設定
- (2) 深さ速度……………「標準」に設定
- (3) 傾き感度……………「標準」に設定
- (4) ダッシング高さ……………「5」に設定
- (5) ダッシング速さ……………「標準」に設定
- (6) 平行復帰……………「入」に設定
- (7) ヒッチ…スーパーヒッチ「有」
デュアルヒッチ「デュアル」に設定
- (8) ロワリンク……………「後」に設定
- (9) 傾き切替……………「傾斜」に設定

補足

ロータリで設定してある場合は、そのまま使用してください。

② 作業開始

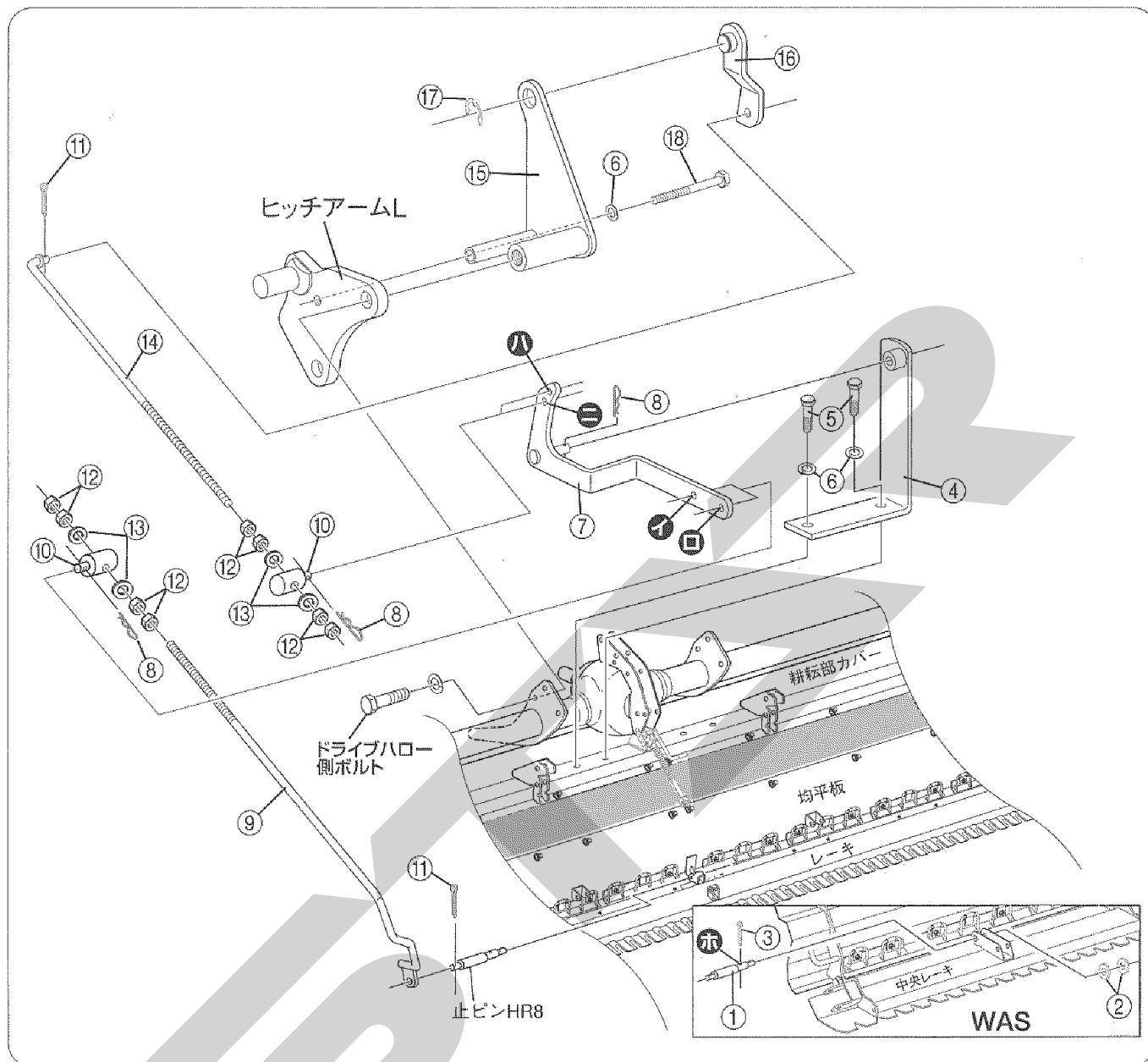
ハローを一度最上げにしてから作業に入ってください。

③ 保守・点検整備

作業が終了したら、オート装置の動く部分に注油し、サビを防いでください。

部 品 表

GO260-HRF20



No.	部品番号	部品名	数量	備考	No.	部品番号	部品名	数量	備考
1	4647 121000	止ピンHR8	1		10	5283 010300	ロッドタンブラ	2	
2	0930 012000	平座金 M12	2		11	0832 102520	割りピン 2.5×20	2	
3	0832 103225	割りピン 3.2×25	1		12	0420 008001	小形ナット M8	8	
4	8373 105000	アーム取出板	1		13	0930 008000	平座金 M8	4	
5	0310 010020	ボルト M10×20	2		14	8173 351000	ネジ付ロッド400C	1	
6	0931 010000	ばね座金 M10	3		15	8173 334000	リンク取付板B	1	
7	8373 106000	センサアーム	1		16	8183 188000	リンクアーム	1	
8	0832 200010	Rピン A-10	3		17	0800 300015	E形止め輪 E-15	1	
9	8173 352000	プッシュロッド580	1		18	0310 010110	ボルト M10×110	1	

※部品注文の際には、部品番号の頭にESをつけてご注文お願い致します。 例) No.1 ES4647121000